

高速道路におけるトラックの後続車無人隊列走行技術を実現しました

国土交通省・経済産業省では、トラックドライバーの不足や高齢化、燃費の改善など物流業界が直面する課題の解決に向けて、成長戦略を踏まえ、2020年度内に高速道路におけるトラックの後続車無人隊列走行技術を実現することを目標として、車両技術の開発を行うとともに、新東名高速道路にて、後続車無人システムの実証実験を進めてきたところです。この度、実証実験の成果を生かし、2月22日（月曜日）に、新東名高速道路の一部区間において、実際に後続車運転席を無人とした状態（後続車助手席には保安要員乗車）での後続車無人隊列走行を実現しました。

国土交通省・経済産業省では、トラックドライバーの不足や高齢化、燃費の改善など物流業界が直面する課題の解決に向けて、成長戦略を踏まえ、2020年度内に高速道路におけるトラックの後続車無人隊列走行技術を実現することを目標として、「トラックの隊列走行の社会実装に向けた実証」プロジェクトを豊田通商株式会社に委託し、車両技術の開発を行うとともに、新東名高速道路の長泉沼津 IC～浜松いなさ IC（約140km）にて、後続車無人システムによる実証実験を進めてきました。

この度、実証実験の成果を生かし、2月22日（月曜日）に、新東名高速道路の遠州森町 PA～浜松 SA（約15km）において、後続車の運転席を実際に無人とした状態でのトラックの後続車無人隊列走行技術を実現しました。

今回実現したトラックの後続車無人隊列走行技術は、3台の大型トラックが、時速80kmで車間距離約9mの車群を組んで走行[※]するもので、安全確保の観点から、後続車の助手席には経験を積んだ保安要員が乗車しております。

[※] 車間距離維持機能や先行車追従機能等を搭載することにより、時速80kmで車間距離約9mでの走行を実現。

後続車無人隊列走行技術の実際の走行時の様子や後続車無人システムの詳細については、3月8日（月曜日）に「YouTube」経済産業省ライブ配信チャンネルにアップされますので、是非ご覧ください。



浜松 SA 内を車間5mで走行



本線を時速80km 車間9mで走行



本線から浜松 SA に分流

なお、成長戦略において、今後の取組として「2025 年度以降の高速道路におけるレベル4自動運転トラックの実現を目指し、高性能トラックの運行管理システムについて検討を行う」ことが掲げられています。今後これを踏まえて、今回実現したトラックの後続車無人隊列走行技術の成果を生かしつつ、引き続き、自動運転技術を搭載した高性能トラックの開発、社会実装を推進していきます。

(お問い合わせ先)

自動車局技術・環境政策課 岡本・辰野

代表：03-5253-8111 (内線 42255)

直通：03-5253-8592 FAX：03-5253-1639